



◎9月5日(火) 3年生 チャレンジテスト 「あきらめない！」

今日は3年生のチャレンジテストです。このテストは、みなさんの自分の学習の到達状況を知ることにより、自分の学力に目標をもってさらに学力向上の意欲を高めるためのものです。それと同時に「府内統一ルール」があり、9月のこのテストの桜台中学校の結果と府全体の平均を比べて、大阪府の公立入試に提出する内申点となる「評定平均の範囲」が決まります。つまり、みんなが精一杯頑張った学校全体の平均点が、入試の評定に結び付く大事なテストです。それぞれの教科で夏休みの宿題や授業での解説などの取り組みがあったと思います。今からできるのは、「しっかり問題を読んで、最後まであきらめずに考えて解くこと」です。何も書かずに空欄のままにしてしまうことのないように頑張ってください。

◎感動！！パリ五輪を自力でつかみ取った男子バスケット日本代表

小さいから無理。国際経験が少ないから勝てない。言い訳ならいくらでもあげることができる。国際バスケットボール連盟がW杯出場選手で最も身長が低いと紹介する富樫勇樹選手が165cmで主将、172cmの河村勇輝選手が司令塔を張る世界ランク36位の日本が、24位のフィンランドと17位のベネズエラという格上のチームに、最後の数分で逆転し大金星を挙げました。特にベネズエラ戦は最後まであきらめずに残り1分55秒での逆転。40分のうち37分までは相手のペースの中、体力と連携を強みにして、疲れが出る終盤の時間帯に相手より正確なプレーができるように鍛錬を積んだ成果だそうです。

最後のガボベルデ戦に勝ってアジアNo.1となって、パリ五輪を決めた翌日の朝日新聞には、「話し合い 支え合い 強くなった」という言葉が見出しにありました。トム・ホーバスヘッドコーチ(HC)は、「選手ミーティング」を大切にされていて選手が自分たちで考え、能動的に動くことを望み、試合をするのはあくまで選手というコーチ哲学で率いてきました。だから、日本代表の12人は、いつも選手だけのミーティングを開いてから試合に臨んでいたそうです。だから強豪国がそろそろトーナメントに入っても、直前にけが人が続いても結束は揺るがず、劣勢でも芯をぶらさず仲間を信じて戦い抜けた。激しい接触でチームメートが倒れると、すぐさま駆け寄って手を指しのべる。何度相手にはね返されてもほかの11人が支えてくれる。互いへの信頼が行動に表れていました。もちろん、勝つために相当の準備をしてきたのは言うまでもないことですが、ミスをして一切責めずにそれぞれの持ち味を最大限に発揮して、個々の役割を確実に果たすことが、この素晴らしいチームを勝利に導いたのだと思います。クラブ活動はもちろんのこと、体育大会や合唱コンクールでクラスがこんなチームになれば良いですね。

◎8月4日(金) 平和学習の全校登校日

1年生は広島原爆の「はだしのゲン」2,3年生は沖縄の14~17歳の少年1000人の護郷隊のことを描いた「あの日、ぼくらは戦場で」という映画を観て平和学習をしました。



◎8月29日(火) 岸和田市英語暗唱大会 2人とも素晴らしかったです

1年生の さんが「I Hate Monju」、
さんが「Zorba's Promise」の暗唱を岸和田市福祉センターの会場で11中学校の代表と保護者や先生方の前で披露してくれました。堂々とした暗唱で、表情豊かに表現していました。

さんはBest8に入賞。

おめでとう!



◎9月1日(金) 3年生 食育、2年生 クラスマッチ(ボール運び)

3年生は給食センターから栄養士の坪倉さんに来ていただき、体育館で骨粗しょう症を初め栄養が偏った場合の身体への影響や給食の栄養バランスの良さについて教えていただきました。



2年生は生徒会の全校クラスマッチに向けて士気を高めるためにボール運びのクラスマッチをしました。

暑期中、みんな楽しそうに頑張っていました。



◎9月4日(月) 教育実習生3名とインターンシップ生1名

教育実習生は3人とも桜台中学校の卒業生で、理科が2名(29日まで)と家庭科1名(25日まで)です。また、インターンシップ生は音楽が1名(13日まで)です。クラブ活動も参加してくれますので、先輩方に進路や勉強の仕方など、いろいろ聞いてみてください。